

1	トラック2 おじさんと、はじめてのちゅうするの
	※SE…靴を履く音
	後ろ・遠目から
	(akr_0039) あかり「あ……おじさん、どこに行くの?」
	正面・遠目から
	(akr_0040) あかり「仕事……? 働きにいくって」と?」
	マイクに近付きながら
	(akr_0041) あかり「……………」
	正面近く
	(akr_0042) あかり「やだ。お家にいて? あかり、おじさんから離れたくない」
	左耳近く
	(akr_0043) あかり「ん……離れないもん。 おじさんと、ずっと一緒にいるんだもん」
	(akr_0044) あかり「今日から、働かなくていいんだよ? あかりがおじさんを養ってあげる」
	正面・通常 (マイクに背を向ける)
	(akr_0045) あかり「んしょ……お金ならたくさん持つてるし、 おじさんのしてほしいこと、なんでもしてあげる」
	正面・通常 (マイクを向く)
	(akr_0046) あかり「どんなことしてほしい……?」
	(akr_0047) あかり「……おじさんが、どうして恥ずかしがってるのかわからない」
	正面・近め (近付きながら)
	(akr_0048) あかり「もっと近くで顔見てもいい……?」
	(akr_0049) あかり「じー………」
	(akr_0050) あかり「……照れてるおじさん、かわいい」

	左耳近く
	( akf_0051 ) あかり「ちゅっ」
	( akf_0052 ) あかり「おじさんって、キスしたことある?」
	( akf_0053 ) あかり「好きな人同士が、唇と唇をくっつけて、ちゅってするの」
	( akf_0054 ) あかり「あかりはしたことがないから…… ちゅっ……ちゅっちゅっ、ちゅっ……」
	( akf_0055 ) あかり「ふふっ、こうやって音だけ真似してるの……」
	左耳囁き
	( akf_0056 ) あかり「でも……おじさんだったらしてみたいな……」
	( akf_0057 ) あかり「……おじさんは、あかりとするのイヤ? 唇で、チュッてするの……」
	( akf_0058 ) あかり「好きな人同士がすることだから、おじさんがよければ…… あかりはおじさんが好きだし……おじさんはどう思ってる?」
	正面・近く
	( akf_0059 ) あかり「会ったばかりとか関係ない。おじさんが、あかりと…… キスしたいかどうか……それだけのことだよ」
	( akf_0060 ) あかり「……それに、あかり知ってる。おじさんが毎日、 夜遅くに疲れた顔をしてお家へ帰っていつてるの」
	( akf_0061 ) あかり「このままだと、これから先もずっとそんな生活になる…… おじさん、どんどん疲れた顔になっちゃう……」
	( akf_0062 ) あかり「働きになんかいかないで、あかりと一緒にいよ? あかりなら、おじさんを疲れた顔にさせないから……」
	右耳・近く
	( akf_0063 ) あかり「ん……ちゅっ……あれ、どうしよう…… 頬っぺたにキスするだけでもすごい恥ずかしい……」
	うつむく(膝立ちぐらいの高さで)
	( akf_0064 ) あかり「急におじさんの顔、見られなくなった…… こんなのおかしい……」
	( akf_0065 ) あかり「頬っぺにただけでもこうなのに、 唇と唇でしたらどうなっちゃうの……かな……」

## 正面・近く

（akr\_0066）あかり「……おじさんは気にならない？  
キスしたら、どんな感じなのか……」

（akr\_0067）あかり「あかりは……すごい気になってる……  
だから……おじさんとなら、してみたい……」

## 右耳・囁き

（akr\_0068）あかり「……キス……してみよ？

やり方わからないから、おじさんからしてほしい……」

（akr\_0069）あかり「……ねえ、いいでしょ？ おじさん……

働きにいくのなんてやめて、お部屋で一杯ちゅーしようよ」

左耳近く&右耳近く（移動しながら）※顔中にあちこちにキスしてるイメージ

（akr\_0070）あかり「ちゅっ……ちゅっ……ちゅっちゅっ、ちゅっ……

おじさんがしてくれるまで、ずっと頬っぺにしている……」

（akr\_0071）あかり「ん……ちゅっ……ちゅっちゅっ……ちゅっちゅっちゅっ……

なんだかこうしてると……お胸がドキドキして……  
おじさんから離れられなくなる……」

## 左耳・囁き

（akr\_0072）あかり「……いいの？ 働きにいかなくて……

ちゅっ、ん……ちゅっちゅっ……ちゅっ……

おじさん、目が蕩けてきちゃってるね……」

（akr\_0073）あかり「このまま、ダメなオトナになっちゃう？

いっしょに……ダメになっちゃう……？」

（akr\_0074）あかり「むずかしく考えることなんてないよ……おじさんを

縛りつけてたものを、ぜーんぶ捨てちゃえばいいだけ……」

（akr\_0075）あかり「よくかんがえてみて？

おじさんが本当にしたいことはなに？」

（akr\_0076）あかり「お仕事に行って働くこと？ それとも……お家であかりと、

無限にちゅーすること？」

（akr\_0077）あかり「……くす、まだ迷ってるんだ。おじさんって真面目なんだね。

……でも、だからがんばりすぎて疲れちゃうんだよ？」

（akr\_0078）あかり「こうやって……ん……耳たぶをあむあむしたら……

少しだけ不真面目になれそう？ ねえ……おじさん、どう？」

左耳・囁き

( akf\_0079 ) あかり「……すごい、カラダがびくんってなってる……  
あむ……ん……あかりに耳をあむってされるの好き?」

( akf\_0080 ) あかり「あむ……ん……はあ……おじさんのそんな切なそうな声……  
初めて聴いた……もつと……聴かせてほしい……」

( akf\_0081 ) あかり「ねえ、声出して……おじさん……ん、あむ……ちゅっ……  
はあ、ん……ちゅ、ん……ん……はあむ……ん、む……  
んんっ、ちゅう……」

右耳・囁き（移動しながら）

( akf\_0082 ) あかり「はあ……反対側の耳も……ん、ダメ。顔は動かさないで……  
おじさんからキスしてくれるまでやめない……続けるの……」

( akf\_0083 ) あかり「んん……はあ……む……んっ……あむ、ちゅっ……はあ……  
ん、ちゅっちゅっ、ちゅうっ……んはあっ……  
どうする、降参する?」

( akf\_0084 ) あかり「早くあかりにキスしないと……お耳、とろっところに  
なっちやうよ? ……ふふっ、おじさんさっきから口が  
開きっぱなしになってる」

正面・近く

( akf\_0085 ) あかり「すぐだらしな顔……そんな顔をしてたら、  
お仕事に行けないね……他人には見せられないもんね……」

( akf\_0086 ) あかり「どうするの、おじさん? まだキスする気にはならない?  
それとも……もつと耳をイジメられたいから、  
じっとしてるの?」

左耳・囁き（移動しながら）

( akf\_0087 ) あかり「……それならそれでいいよ? 働きになんて行かないで、  
ずっとあかりにイジメられてればいいよ……  
手足の力を抜いて……顔の力も……」

( akf\_0088 ) あかり「ん、はあ……ちゅっ、れろっ……んはあ、む……ちゅっ、  
はあ……はあ……ふう……おじさんをビクンってさせるの、  
楽しくなってきた……」

( akf\_0089 ) あかり「あかり、おじさんが考えてることわかるよ?  
こんなに小さい女の子にキスをするなんて、  
オトナの世界では許されないんだもんね……」

## 左耳・囁き

( akf\_0090 ) あかり「だから、がんばって我慢してる……  
小さい女の子に手を出すのはいけないって……  
自分に言い聞かせて……」

( akf\_0091 ) あかり「でも……でもね、それが許される世界があるの……  
ここは、あかりに何をしてもいい世界……  
小さい女の子を好きにしている世界……」

( akf\_0092 ) あかり「ふふ……その調子……どんどん、カラダから余計な力が  
抜けていつてる……このままだと、こっちの世界から  
抜け出せなくなっちゃうね……」

( akf\_0093 ) あかり「足元から、ずぶずぶ埋もれていつて……  
もがいても、もがいても、あかりの手のうちで……  
おじさん、自分に素直になっちゃおう?」

( akf\_0094 ) あかり「そうすれば楽になるよ? ……ね?  
おじさんはどんな風にキスをしたいと思ってた?  
あかりの唇を見て、どんなことを考えてたの?」

( akf\_0095 ) あかり「いっしょにダメになっちゃおうよ……  
このまま、ずぶずぶ……ずぶずぶずぶ……  
ほら、もう胸の辺りまでずぶずぶになってる……  
じっとしてたら、溺れちゃうね……」

( akf\_0096 ) あかり「大丈夫だよ、あかりも一緒だから……  
ふたりで一緒に溺れていくの……  
溺れた先には何があるのかな……おじさんはどう思う?」

## 正面・近く(移動しながら)

( akf\_0097 ) あかり「……すごく困った顔してるね。  
溺れたのにな、溺れたくないっていう顔……オトナになると、  
難しいこといっぱい考えちゃうんだね……」

( akf\_0098 ) あかり「でもあかり、そういうオトナのおじさんをダメにしたい……  
おじさんをダメにするために、ここへ来たの……」

( akf\_0099 ) あかり「おじさん……もしかして、あかりにもっと耳を  
あむあむしてほしい?」

## 右耳・囁き(移動しながら)

( akf\_0100 ) あかり「……そうだったんだ。そんなにこれが気に入ったんだね……  
ん、あむ……ちゅっ……はあ、む……んんっ……  
ちゅ、あむ……んんっ、ん……」

	<p>右耳・囁き</p> <p>(akr_0101) あかり「はあ……おじさん、もっと耳をこっちに向けて……ん……あむ、ちゅっ……んんっ、はあ……はあ……はあ……こういうのはどうかな……」</p> <p>(akr_0102) あかり「ふーっ……ふふっ、おじさんぶるるって震えてかわいい……耳の中にあかりの息が入ってびっくりした?」</p> <p>(akr_0103) あかり「ふーっ……ふっふっ、ふー……っ……」</p> <p>左耳・囁き(移動しながら)</p> <p>(akr_0104) あかり「反対の耳にもしてあげるね……」</p> <p>(akr_0105) あかり「ふー……っ……ふーっ、ふーっ……ふううっ……おじさん、くすぐったそう……あ、逃げようとしたらダメ。それ以上、暴れたらこうしちゃうよ?」</p> <p>※SE:ベッドに軋む音</p>
	<p>正面・近め</p> <p>(akr_0106) あかり「……小さい女の子に両腕を押さえつけられて、おじさん動けなくなっちゃったね」</p> <p>(akr_0107) あかり「こういうのも、はんざい……っていうのかな……どうなの? あかり、悪いことしてる?」</p> <p>左耳・囁き(移動しながら)</p> <p>(akr_0108) あかり「……でも、おじさんも悪いんだよ。いつまで経っても、あかりにキスしてくれないから……」</p> <p>(akr_0109) あかり「だから……ん、はあむ……んんっ、ちゅっ……はあ、れろっ……あ……ごめんなさいっ、耳っ……舐めるつもりはなかったのに……」</p> <p>(akr_0110) あかり「……あれ? おじさん……嫌じゃないの? 耳を舐められるの……耳の中に水が入ってくるみたいで気持ち悪くない?」</p> <p>(akr_0111) あかり「……そうなんだ……おじさんは、こういうのもいいんだ……ちゅっ、れろっ……れろっ……ん、はあ……れろっ……れろお……っ」</p> <p>(akr_0112) あかり「ふふっ……おじさん、すごい声が出る……ほら……おじさんの耳の中に、あかりの舌が入っていくよ……」</p>

## 左耳・囁き

( akr\_0113) あかり「ん、れろっ……ちゅっ、れろっ、れろっ……れろお……っ、ちゅっ、ん……れろれろっ……れろん……れろっ、れろおっ……」

( akr\_0114) あかり「はぁ……ん……なんか……おじさんの耳を舐めてると……カラダが熱くなってくる……こんな風になるの……初めて……不思議な感じ……」

( akr\_0115) あかり「ん……はぁ、こうやって……れろっ、ん、ちゅ……れろおっ……舐めるの……すき……おじさんのかわいい声、たくさん聴けるし……」

( akr\_0116) あかり「ちゅっ、ん……れろっ、れろれろっ、れろっ……れろおっ、おじさんが……どんだんダメになっていってるのがわかる」

## 正面・近め(移動しながら)

( akr\_0117) あかり「……でも、反対側の耳はどうしようかな……  
(舌を出しながら)ほら……この舌でいっぱい舐めてほしい？  
耳の中、クチュクチュされたい？」

( akr\_0118) あかり「それなら……おじさんがあかりにキスしてくれたらいいよ？  
してくれないなら、こうやっれ……目の前で舌がうごくのを見るだけ……」

( akr\_0119) あかり「いいの、おじさん？ 耳、舐めてほしいんだよね？  
……少し唇を突き出せば、触れられる距離にいるのに」

( akr\_0120) あかり「……ねえ、あかりとキスしてダメになっちゃおうよ。  
おじさんの唇と……あかりの唇で……ちゅーって……ね？」

( akr\_0121) あかり「……ふふっ。まだ迷ってるみたいだけど……  
もう働きのいいこうとは思ってないみたいだね……  
嬉しい……おじさん、仕事よりあかりを選んでくれたんだ」

( akr\_0122) あかり「それじゃあ、次に選ぶのはどっち？  
あかりとキスするか……このまま、我慢を続けるか……」

( akr\_0123) あかり「あ……それともおじさんって……もしかして、  
女の子とキスしたことないの……？  
だからやり方がわからない……とか？」

( akr\_0124) あかり「……もしそうだとっても、大丈夫だよ。  
あかりもしたことないし、やり方がわからないのは  
いっしょだから……」

( akr\_0125) あかり「はじめてどうしのキスって……きっと素敵だとおもうの……  
ほら……おじさんの指で、あかりの唇を触ってみて……」

（akr\_0126）あかり「やわらかい……？ おじさんの指……すごく「ツツ」してる。大きくて……がつしりしてて……んっ、ん……えっ？ おじさっ……指っ……んんっ、ちゅ……む……んっん……はあっ……んちゅ、ちゅっ……んっ……んんっ……」

（akr\_0127）あかり「ちゅっ……ん……指……舐めればいいの？ んんっ……ちゅっ、れろっ、ぴちや……はあ、おじさん……息が荒くなってる……ん……指……引っこめなくて平気……おじさんが喜んでくれるなら、もっとしてあげたい……」

（akr\_0128）あかり「ぴちや、ちゅ……れろっ……はあ、指先から……ぴちや、れろっ……ん……根元……まで……ぴちや、ちゅっ……れろっ、ちゅう……はあ……手のひら……ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……もっとキスする……ちゅっ、ちゅっ、ちゅっちゅっちゅっ……」

（akr\_0129）あかり「ん、はあ……あ……おじさん褒めてくれてるの？ 急に……頭を撫でられたから……びっくりして……でも、褒められるの嬉しいから……もっと……おじさんのゆび……舐め……んっん！？ んんっ、んっん！？」

（akr\_0130）あかり「お、おじさっ……待っっ、んぢゅっ、ぢゅっ……んっん、ぢゅっ、んぢゅうう……んっん、んんんっ！？」

（akr\_0131）あかり「んぢゅっ、はあっ、おじさんっ……いきなりずりゅいっ……んぢゅっ、んんっ、ぢゅううっ、んんっん！？ んんっ、ぢゅっ、ぢゅうっ、んんっ、んっん、んんんんっ！？」

（akr\_0132）あかり「んんっ、んぢゅっ……はあっ……れろっ、ちゅっ……んんっ……はあっ、おじさんのキスっ……激しいよう……っ、んんっ、んっんん！？ んんんっ！？ んぢゅっ……んんっ、んぢゅっ、れろっ、ぢゅう……んぢゅっ、んぢゅううっ！？」

（akr\_0133）あかり「ぢゅっ……はあ、はあ……はあっ……おじさん、ほんとうに待っ……んぢゅっ、んんっ、息っ、できなっ……んぢゅっ、んんっ……んっん、んんっ！？ ぢゅっ、んんっ、んんぢゅっ、ぢゅううっ……」

（akr\_0134）あかり「んぢゅっ、んんっ……ぷあ……はあっ、んっ、はあっ……おじさんっ……待ってって……言ってるのに……あかり……頭の中っ、真っ白にっ……んぢゅっ、んんっ！？ ああっ、またっ……んっん、んぢゅ、んぢゅるる……んっん、ぢゅう……んっんん！？」

（akr\_0135）あかり「んぢゅっ、んん！？ んっん、ぢゅっ、んんんっん！？ んっん！？ んぢゅっ、んんぶ、んんっん、んんん！？」



## 正面・近め

( akf\_0136) あかり「んんっ、はあっ……はあ……はあ……はあ……はあ……  
キスって……すごい……ん、はあ……おじさんのキス……  
すごすぎて……力が……入らない……」

( akf\_0137) あかり「……謝らなくて平気だよ、おじさん……  
このまま、二人で融けていっちゃお……？」

## 左耳・囁き(移動しながら)

( akf\_0138) あかり「あと、これは……キスしてくれたから……そのお返し……  
ん……ちゅっ、はあ、む……れろっ……ん、ちゅっ……  
ちゅうれろっ……れろん……ぴちや、ちゅうれろおっ……」

( akf\_0139) あかり「んちゅ、れろっ……ちゅう、ぴちや、れろんっ……はあ、  
おじさんがビクッてしてくれと……うれしい……  
もつとさせたくなる……ん、ちゅ、はあ……れろっ、  
ぴちや……ちゅう、れろっ……ん、ちゅ、はあ……」

## 右耳・囁き(移動しながら)

( akf\_0140) あかり「こっちのお耳も……んちゅ、れろっ……ぴちや……ちゅう、  
れろっ……ん、はあ……れろっ……ちゅう、ぴちや、ちゅう、  
んんっ……ちゅ……ぴちや、れろっ……」

( akf\_0141) あかり「ちゅっ、ん……ふふ、すごいビクビク……してる……  
おじさんのお耳で……キスのれんしゅうしてもいい？」

( akf\_0142) あかり「おじさん、舌を使うのがすごく上手だったから……  
あかりも……上手く舌を動かせるように……ん、れろっ……  
ぴちや……ちゅう……れろれろっ、ちゅううっ、ぴちや……」

( akf\_0143) あかり「ん、ちゅ……はあ、れろっ……ぴちや……ちゅっ、ん、  
れろっ……んんっ、れろっれろれろれろっ……はあ、  
おじさんの耳……あかりのツバでベタベタになっちゃった」

( akf\_0144) あかり「ちゅっ、ぴちや……ん……ぴちゅ……れろっ……れろお……  
はあ……まだ……おじさんみたいに……上手く舌を使えない  
けど……耳の……奥にも……ん、ちゅ、れろっ……はあ、  
ちゅっ、ぴちや……ちゅっ、れろっ……ちゅう……」

( akf\_0145) あかり「んんっ、ちゅう、はあ……おじさんの耳の孔に……  
舌を入れるの……楽しい……もつと舌を動かした方がいい？  
ん、ちゅっ、れろっ……ん……ふ……れろっ……  
れろれろれろっ、ちゅう、れろんっ、れろれろれろっ……」

( akf\_0146) あかり「ちゅっ、ん…………くす……  
おじさん、唇が隙だらけになってる……ん……ちゅ……  
ちゅっ…………ちゅっ、ちゅっ…………あかりのキスも……  
味わって……」

( akf\_0147) あかり「ん、ちゅっ…………ぴちや、れろっ…………はあ、ぴちや…………ちゅっ、  
ん、れろっ…………ぴちや…………ちゅう…………んふ…………ん、ふ……  
ちゅっ、はあ…………れろっ…………ぴちゅ…………ぴちや…………」

( akf\_0148) あかり「ちゅっ、んっ…………ふ…………おじさんの舌に…………あかりのを  
絡めると…………あかりもビクッてしちゃう…………でもこれ……  
すぐ…………気持ちいい…………」

( akf\_0149) あかり「ん、ちゅっ、はあ…………っ…………キスをした時に…………ふわっと  
するのって…………気持ちよくて…………しあわせで……  
ずっとしててもあきない……」

( akf\_0150) あかり「…………おじさんは…………どう？ あかりとのキス……  
癖になりそう？ 気持ちいい？ やめられなくなっちゃっ？」

( akf\_0151) あかり「…………ふふっ、やめなくていいんだよ？  
あかりはおじさんのものなんだから…………あかりも……  
気持ちいいキスいっぱいしたい……」

( akf\_0152) あかり「ん…………れろっ…………ちゅっ…………ぴちや…………れろっ…………  
れろれろれろっ、ぴちや…………はあ、れろっ…………ちゅう……  
ぴちや…………はあ、おじさんもうあかりにずぶずぶだね……」

( akf\_0153) あかり「最初の頃と顔つきもぜんぜん違って…………ダメな大人の顔に  
なっちゃってる…………んちゅ、れろっ…………ぴちや、はあ……  
ぴちや、れろっ、んっ…………ちゅう、ぴちや……  
ちゅううっ…………」

( akf\_0154) あかり「はあ、おじさんの激しいキスもドキドキするけど……  
やさしいキスも好き…………舌をゆっくり動かして…………ん、ちゅ、  
はあ…………こうやっれ…………絡み合わせて…………ちゅっ、れろっ、  
ぴちや、ちゅう…………ぴちゅ、れろっ…………れろんっ…………」

( akf\_0155) あかり「ん、ちゅ、れろっ…………れろれろっ…………れろっ、れろん……  
はあ…………おじさん、働きにいかなくていいの？  
おじさんの口から聞きたいな……」

( akf\_0156) あかり「これから働きのいくのか、お家で…………ずっとあかりと  
キスをして…………頭の中がドロドロになって……  
んちゅ、ちゅ…………れろっ…………ぴちや、ちゅう、ぴちや……  
はあ、ねえどっちがいい？」

## 正面・近め

( akc\_0157) あかり「働きにいきたくなかったら……あかりの顔を見て、舌を出してほしい……もつとキスしたいって……あかりに溺れたいって……」

( akc\_0158) あかり「……ふふっ、返事に迷いがなかったね。おじさん、かわいい……ん、はあむ……ちゅっ、れろっ……ちゅう、ぴちゃ……はあ、ちゅっ……れろっ……ぴちゃ、ちゅう……ぴちゃ……れろっ……れろれろ、れろっ……」

( akc\_0159) あかり「ん、ちゅっ……ちゅううっ……今から始まるの……おじさんとあかりの……気持ちいいカンケイ……おじさん、もう働かなくていいんだからね……」

※トラック3へ